ウポポイ オロワノ

2026.11.23

#歴史・文化 #アイヌ文化

アイヌの口琴①



鈴木紀美代　作、筆者蔵

アイヌの口琴

口琴は、世界各地で親しまれてきた楽器です。アイヌ民族も古くから口琴を使っており、竹や木で作られたもののほか、金属製のものも用いられてきました。竹や木の口琴は自分たちで作ることもあり、金属製の口琴は交易によって手に入れたものが使われることもありました。竹や木で作られた口琴は、主に「ムックリ」「ムックル」などと呼ばれ、金属製のものには「カーニムックナ」「カーニムックン」などの呼び名があります。
口琴は、楽器の中央にある「弁」と呼ばれる部分を振動させ、その音を口の中に響かせて演奏します。組を引く強さや呼吸、舌の動かし方などによって、さまざまな音の変化を生み出すことができます。また、自然の素材から作られているため、一つひとつの楽器に違いがあります。さらに、演奏する人の口の大きさや息づかいなどによっても音が変わります。そのため、演奏する人によって異なる音色が生まれることも、口琴のおもしろさのひとつです。ぜひ実際にムックリを手に取って練習してみたり、さまざまな方の演奏を聴き比べたりしながら、アイヌ文化の中で受け継がれてきた口琴の音色を楽しんでみてください。

演奏されるシーン

現在、アイヌ民族の口琴は、独奏や二人ほどでの合奏が多く見られますが、歌や踊りの伴奏として演奏されることもあります。
今でも、ムックリを伴奏として演奏する方や、ムックリにまつわる歌と組み合わせて公演などで披露する方もいらっしゃいます。また、到着の伝承者からは、子どものころに近所の人や親戚が集まると、その地域でよく踊られている「シチョチョイ」と呼ばれる豊年踊りを踊りだし、その歌と踊りに合わせて、ムックリで伴奏していたとも伺いました。
今回は、現在では耳にする機会の少ない、伴奏としてのムックリの音色を楽しめる動画もご用意しました。ムックリの独奏に加え、演奏前の素敵なウポポ(歌)も収録されていますので、ぜひお聴きください。

ムックリの演奏・アイヌの芸能を披露する、阿寒口琴の会



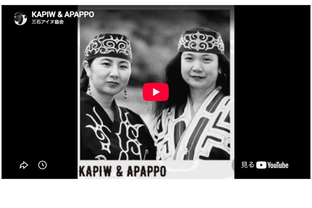
金属製の口琴

現在、アイヌの伝統芸能を紹介する公演では、竹製の口琴が演奏されることが多く、金属製の口琴を耳にする機会はあまり多くありません。しかし、アイヌ民族はこれまで、竹製だけでなく金属製の口琴も演奏してきました。
現在でも、金属製の口琴を演奏する際に、その口琴が受け継がれてきた国や地域、呼び名などを紹介しながら、演奏を披露する方もいます。アイヌ民族は、さまざまな地域や人々との交流を通して、様々なものを自分たちの文化の中に取り入れてきました。そうした交流の中で文化を育みながら、現在へと受け継いでいます。



国立アイヌ民族博物館　蔵

金属製の口琴を演奏する、kapiw&apappo



案内人

yaykomina
札幌出身、北海道の沙流（さる）・鵡川（むかわ）地域にルーツをもつ、家族や伝承者から、芸能・植物利用・工芸・アイヌ語などを継承。この連載では、アイヌ文化にまつわるさまざまなテーマを、私なりの視点を交えながら皆様にお伝えしています。

INFORMATION

ウポポイ（民族共生象徴空間）

ウポポイは日本の貴重な文化でありながら存在の危機にあるアイヌ文化の復興・創造等の拠点となるナショナルセンターです。豊かな自然に抱かれたポロト湖のほとりで、アイヌ文化の多彩な魅力に触れることができます。愛称「ウポポイ」は、アイヌ語で「おおせいで歌うこと」を意味します。

住所	白老郡白老町若草町2丁目3 Google Map
電話番号	0144-82-3914
営業時間	9:00～17:00 (時季により変動あり) ※詳しくはウポポイ公式WEBサイトを確認
閉園日	月曜日および年末年始(12/29～1/3) ※月曜が祝日または休日の場合は翌日以降の平日に閉園 ※特別開園日・閉園日あり
料金	一般1,200円、高校生600円、中学生以下無料 ※20名以上に適用する団体料金あり ※有料の体験プログラムや博物館の特別展示の料金を除く
アクセス	JR白老駅から徒歩約10分
関連リンク	公式サイト



アイヌ文化に触れてゴールを目指せ！QuizKnockからの挑戦状 in ウポポイ

ウポポイでは、知的エンタメ集団・QuizKnockとの初のコラボレーション企画として、周遊型クイズラリーイベント「アイヌ文化に触れてゴールを目指せ！QuizKnockからの挑戦状 in ウポポイ」を開催中です！

開催期間	～2027年3月31日(水)

詳細はこちら

© 公益財団法人アイヌ民族文化財団

※情報は取材時のものです。最新情報は各公式サイト等をご確認ください。

ウポポイ 民族共生象徴空間
イランカラプテ こんにちは、かんばしめよう。

ウポポイ オロワノ 記事一覧はこちら

この記事をシェアする

Copyright © Hokkaido Railway Company all rights reserved. No reproduction or republication without written permission.